

⑩ FIC 君津の森と君津グリーンセンター ヤマザクラ咲く南房総の里山

【概要】千葉県森林インストラクター会が里山復活の森づくりを目的に整備に取り組んでいる森、クヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹が新緑と紅葉の時期に森を彩る、隣接する君津グリーンセンターは緑化樹木の生産基地として、400種を超える植栽樹木が、自生する100年を超えるヤマザクラ、スタジイなどともにユニークな景観を見せている。

【森林の特徴と見所・歴史文化】

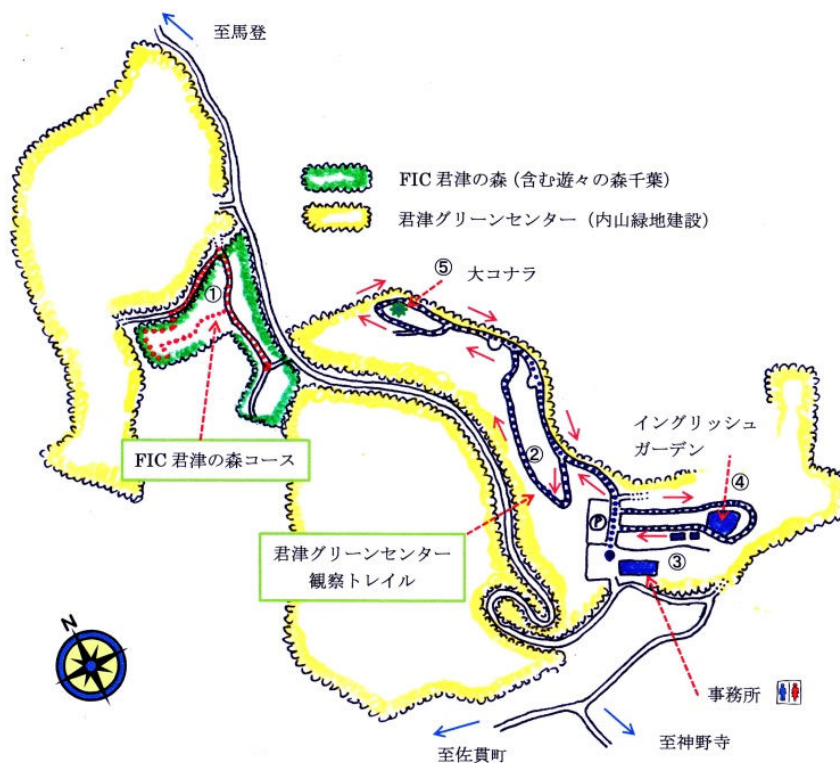
FIC 君津の森は、およそ100年前、地元（旧周南村）の人々が薪炭生産を目的により利用してきた国有林である。平成15年（2003年）10月、今では使われなくなっていたこの森を、千葉森林管理事務所との間で締結した「ボランティア活動による森づくりに関する協定書」に基づき、FIC 君津の森として整備を始めた。現在、この森は里山復活の森づくりを目的に、森林インストラクターの森林整備の研修や一般市民の野外講座などに活用されている。

この森は、樹齢30年～40年生のクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどを中心とする広葉樹林である。平成25年度の調査によると木本類142種、草本類124種、タケ1種が確認されている。その他の生物として、40種の菌類、11種の鳥類、66種の昆虫類が確認され、またノウサギ、シカ、イノシシの食痕・糞・生息の痕跡が確認されていることから多様な生物が住む自然環境を有していると云える。

平成22年（2010年）よりは、新たに隣接する国有林を、子ども達の森林教室、自然体験活動などが行える「遊々の森」の制度を利用し、「遊々の森千葉」として整備・活用を行っている。

FIC 君津の森の側にある「君津グリーンセンター」は、およそ50年前、この地を保有する内山緑地建設（株）により、関東の緑化樹木の生産拠点として開設されたもの。現在、総面積約50haの土地に、約400種類、約6万本の樹木が栽培されており、自生するヤマザクラやスタジイと共に、鹿野

本サイトの記事・画像等の無断転載は禁じます。



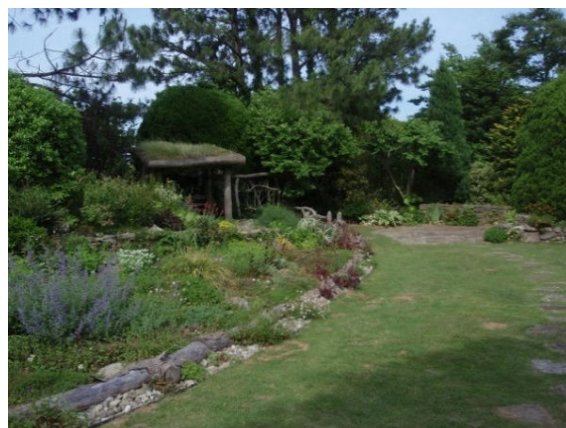
山の一画の景観を形成するまでになっている。園内には、イングリッシュガーデンを始め各種ガーデンや観察トレイルが整備され、四季折々来訪者の目を楽しませてくれる。

近くにある神野寺（じんやじ）は、房総三山の一つで、信仰と伝説の山として知られる鹿野山上に建つ真言宗智山派の関東屈指の古刹。寺伝によると、今から1400年前に聖徳太子によって創建されたとされる。杉木立に囲まれた境内には仁王門、本堂、経堂、六角堂、鐘楼堂、五重塔や国重文の表門などがある。

また神野寺の近くの九十九谷の展望公園からは、房総の幾重にも連なる山並みの風景が一望できる。有名な東山魁夷の初期の作品「残照」は、この九十九谷の風景と甲州や上越の山々の情景を重ね、心情的に表現したものとして知られている。

【コース紹介】

FIC 君津の森①：FIC 君津の森の看板を見て、反時計回りで森を巡る、最高地点まで登り、山の神の場所を経由して戻る。所要時間は約1時間。千葉県森林インストラクター会会員の同伴をお勧めする。君津グリーンセンター②：事務所③近くの駐車場付近よりスタート、観察路に入り、途中左に下る道をたどり、大コナラ⑤まで行き、スタート地点に戻る。駐車場からマグノリアの小径をたどり、イングリッシュガーデン④を見学する。所要時間はおよそ1時間30分。



イングリッシュガーデン（君津グリーンセンター）



FIC 君津の森を遠望



FIC 君津の森



遊々の森千葉

コースで見られる主な植物等

【木本類】

スギ、イヌガヤ、クリ、マテバシイ、アラカシ、クヌギ、コナラ、ムクノキ、イヌビワ、コブシ、クスノキ、ヤマコウバシ、クロモジ、タブノキ、ウワズミザクラ、マメザクラ、ヤマザクラ、コゴメウツギ、アカメガシワ、カラズザンショウ、サンショウ、センダン、ヌルデ、アオキ、ミズキ、エゴノキ、ムラサキシキブ、ウグイスカグラなど

【草本類】

ミズヒキ、ツクバトリカブト、イヌショウマ、センニンソウ、ヒトリシズカ、フタリシズカ、ムラサキケマン、チダケサシ、キンミズヒキ、クサボケ、ヌスビトハギ、ゲンノショウコ、タチスミレ、アカネスミレ、オオカモメズル、キツネノマゴ、ノコンギク、ヤマユリ、ヒガンマムシグサなど

【栽培種・逸出種等】

緑化樹木生産圃場が隣接するため、一部に残存種や圃場からの移入種が見られるのが特徴である。

野外講座企画のための情報

FS 指数： 水平距離： km 登高 m

トイレ：君津グリーンセンター内のトイレを借用

昼食場所候補：君津グリーンセンター

近隣の見所：神野寺、九十九谷の遠望、マザー牧場

【一口メモ】

君津グリーンセンターの利用：内山緑地建設事務所（0439-50-1700）に現地にて直接または電話にて利用申込が必要。